

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

6月27日(火)

三重県漁業協同組合連合会 第74回通常総会

6月27日(火)、三重県水産会館において、三重県漁業協同組合連合会の第74回通常総会が開催された。

冒頭に会長職務代理者である服部弘常務理事が挨拶した後、議事では、以下の11議案が諮られ、全て原案通り承認された。

議決事項

- ・ 第1号議案
2022年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について
- ・ 第2号議案
2023年度事業計画の設定について
- ・ 第3号議案
中期経営計画の設定について
- ・ 第4号議案
監事監査細則の一部変更について
- ・ 第5号議案
2023年度指導事業賦課金の額、基準、徴収時期及び徴収方法について
- ・ 第6号議案
2023年度内における借入金の最高限界額の設定について
- ・ 第7号議案
役員を選任について
- ・ 第8号議案
2023年度理事及び監事の報酬について
- ・ 第9号議案
役員退任慰労金の支給について
- ・ 第10号議案
余裕金の預入れ先銀行の決定について
- ・ 第11号議案
付帯決議について

6月21日(水)～23日(金)

第7回“日本の食品”輸出 EXPO

東京ビッグサイトにて「第7回“日本の食品”輸出 EXPO」が開催された。会場では、世界に誇る“日本の食品”が一堂に集まり、三重県漁連としては『伊勢まだい』、『伊勢ぶり』、『三重県産海苔海藻類』、『シジミ』等を海外バイヤーに売り込むためPR活動（商品展示、パンフレット配布、試食、PR動画の放映等）を3日間行った。

開催期間中は合計2万3千名を越える来場者のなか、弊会ブースには約250名の訪問があった。中国やシンガポール、タイ王国等のインポーターやバイヤーと商談が行れ、今後の輸出展開が期待される内容であった。また、弊会ブースに立ち寄った勝俣孝明農林水産副大臣にも、三重県の水産業の現状と課題について説明しました。



7月22日(土)
三重県農林漁業就業・就職フェア2023
開催



7月22日(土)、三重県総合文化センターの第1ギャラリーにて、(公財)三重県農林水産支援センターが主催する三重県農林漁業就業・就職フェア2023が開催される。

本イベントは、県内の農林漁業に就業・就職を希望する者やU・Iターン希望者を広く呼集し、三重県農林漁業の情報の提供や、相談に応じるとともに、併せて受入経営体等との相談の場を提供、また、農林漁業の経験のない就業等希望者には、研修や体験の説明及び相談に応じることを目的としている。

また、同日マイドームおおさか(大阪府)にて全国漁業就業者確保育成センター主催の「漁業就業支援フェア2023」が開催される。

双方ともに三重県担い手対策協議会のブース出展がありますので、漁業就業したい方、漁業に興味のある方、興味のある方は是非、ご参加ください!

7月16日(日)~31日(月)
海の事故ゼロキャンペーン

7月16日から同月31日まで、海の事故ゼロキャンペーンが公益社団法人日本海難防止協会、公益財団法人海上保安協会、海上保安庁が主催となって実施される。

海の事故ゼロキャンペーンは「海難ゼロへの願い」をテーマに、漁業関係者、船舶運航に直接関わる方、マリンレジャー愛好家をはじめとした海に関わる方々の海難防止についての関心を深めていただくことによって、海難防止思想の普及及び高揚を図ることを目的に行われる。

海の事故ゼロキャンペーンが主催するイベントが全国各地で開催されるため、同キャンペーンのホームページ(<https://www.kaiho.mlit.go.jp/mission/kaijyoutoutsu/jikozero.html>)の「各地域のイベント情報」をご参照の上、是非ご参加ください!

【主な予定】

○7月8日(土)
海浜清掃(白塚海岸)

○7月22日(土)
第18回マリンカップ(津カントリー)

○8月5日(土)
三重県黒のり漁期前研修会(華王殿)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。